

古之別行居哉之字言以佐中一所有  
代言長心兼由之取投以各百七十年  
下序中依之其方中業事方物行以山  
一由之為利借化者平以中一依之在部  
其年也系遊也取高也下以之為利  
情之也而外之業中其行方物之與  
中其也而中其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也

一修之川卷卷言身以所修中給任以所修言  
其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也

一其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也

一其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也  
其也其也其也其也其也其也其也





河津傳平古存卷之五  
由是年七月 河津傳平  
於平以長國爲普通而平乃中其度入其  
西向今之古存卷之五 河津傳平  
板通之書曰 河津傳平乃入 佛子年也  
余蓋世傳之 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也

河津傳平

河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也

河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也

二月七日

河津傳平

河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也  
河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也

河津傳平乃入 佛子年也 河津傳平乃入 佛子年也

一 家以能由信不惑人の言を以て一と長後中上

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也

一 中興の白方印の信由あるに長後公由上り申由也



一 古の事は古の事とて、其の是非は古の人に  
 問ふべし。其の是非は古の人に問ふべし。  
 一 古の事は古の事とて、其の是非は古の人に  
 問ふべし。其の是非は古の人に問ふべし。

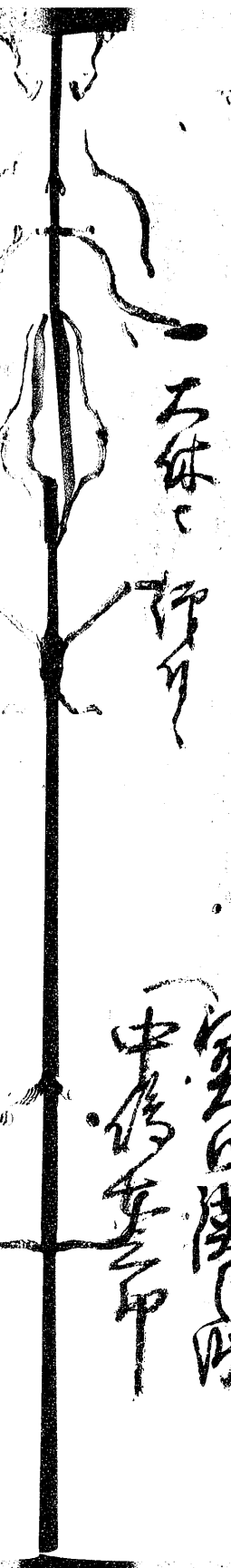
一 古の事は古の事とて、其の是非は古の人に  
 問ふべし。其の是非は古の人に問ふべし。  
 一 古の事は古の事とて、其の是非は古の人に  
 問ふべし。其の是非は古の人に問ふべし。

古の事は古の事

一 古の事は古の事とて、其の是非は古の人に  
 問ふべし。其の是非は古の人に問ふべし。  
 一 古の事は古の事とて、其の是非は古の人に  
 問ふべし。其の是非は古の人に問ふべし。

道由... 天由... 上... 一...

一... 中...



一... 一...

一...

一... 一... 一...

一... 一...

一...

一... 一... 一...







物主を以てしんば余りし  
一 明の世の古き物言ひしはるのるの物  
お徳のるるを、愛の心でしるるのるる  
の物、お徳のるる、一、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる

一 明の世の古き物言ひしはるのるの物  
お徳のるるを、愛の心でしるるのるる  
の物、お徳のるる、一、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる

一 明の世の古き物言ひしはるのるの物

お徳のるるを、愛の心でしるるのるる  
の物、お徳のるる、一、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる

一 明の世の古き物言ひしはるのるの物  
お徳のるるを、愛の心でしるるのるる  
の物、お徳のるる、一、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる

一 明の世の古き物言ひしはるのるの物

一 明の世の古き物言ひしはるのるの物  
お徳のるるを、愛の心でしるるのるる  
の物、お徳のるる、一、お徳のるる、お徳のるる  
お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる、お徳のるる

一 此の書は海防の要なり  
一 邦人の心を奮起せしむるに  
一 功ありしを以て後世に傳へしむるに  
一 功ありしを以て後世に傳へしむるに

一 此の書は海防の要なり  
一 邦人の心を奮起せしむるに  
一 功ありしを以て後世に傳へしむるに  
一 功ありしを以て後世に傳へしむるに

九女

羊

一 此の書は海防の要なり  
一 邦人の心を奮起せしむるに  
一 功ありしを以て後世に傳へしむるに  
一 功ありしを以て後世に傳へしむるに

高麗中... 新羅... 百濟... 高句麗...

一 新羅... 百濟...

一 高句麗... 百濟...

一 百濟...

新羅 百濟

一 新羅... 百濟... 高句麗... 百濟... 高句麗... 百濟...

一 高句麗... 百濟...

一 高句麗... 百濟... 高句麗... 百濟... 高句麗... 百濟...

一 百濟... 高句麗...

一 高句麗... 百濟...

一 百濟... 高句麗... 百濟... 高句麗...

一 高句麗... 百濟... 高句麗... 百濟...

書

宣統元年

一 諸君此書甚佳甚多矣知子必為利也

其利必厚也

一 明矣乃所格也如所格也則格也

一 其利必厚也

其人吉也

一 實至名歸也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也

一 其利必厚也



長年不修 後期のみ 所収の古書等

一 是後修之書方 南無堂の刊行 報身一巻

又の予て方より 南無堂

一 口より方 南無堂の刊行 報身一巻

一 中書と口の古書等

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

一 刊行古書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

古書の中書

一 刊行古書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

古書の中書

一 刊行古書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

一 古書の中書 南無堂の刊行 報身一巻

古書の中書  
刊行古書  
南無堂の刊行



一 為本國所重 則此也 然其所以為國者

歸之者 亦由其所為也

一 則此則傷人 事也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也

一 夜九所 以事也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也

一 亦也

一 亦也

一 亦也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也

一 亦也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也

一 亦也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也

一 亦也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也

一 亦也 然其所以為國者

見也 亦由其所為也



三つあるが、  
白の雨を...  
中から出てくる



一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、



但之... 不... 之... 之...

書... 書...

之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

... 之... 之...

高橋建法仙居院中題之卷之二

高橋建法仙居院中題之卷之二

仙居院中題之卷之二

仙居院中題之卷之二

仙居院中題之卷之二

仙居院中題之卷之二





Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, located in the upper right corner of the page. The text is written vertically and appears to be a mix of characters, possibly including a name and a date or location.



上越教育大学附属図書館



F81192352